

# 株式アナリスト〈黒岩の眼〉

## 「電話のみで失望売り、ダム決壊は海外発？」

本日の日経平均は 62.69 円安の 9116.69 円で取引を終了した。売り一巡後は下げ渋る場面もあったが、前場終了後に「菅・白川会談は電話のみ」と伝わったことで失望売りが優勢。円相場もやや強含みの動きとなったが、株価は例の“PKO”によって下値を支えられた。結局、日経平均は 8/12 のザラバベースの年初来安値 (9065.94 円) を割り込むことなく、取引を終了した。

しかし、日経平均の日足チャートでは、連日の陰線出現。着実に下値を切り下げられており、9050 円のテクニカルな壁は“風前の灯”となっている。仙谷官房長官の話では「菅・白川会談で、為替介入は議論されなかった」と伝えられており、強権的な為替介入、株価買い支え政策はとられないとの見方が優勢。年金資金 (GPIF) や郵政マネーによる買い支えはあるが、これらの資金が枯渇すれば、相場は雪崩を打つように崩壊しそうである。株安・円高方向へのエネルギーは着実に蓄積しており、あとは“きっかけ待ち”だと思われる。

菅・白川の両氏が動けないのは、やはり“外圧”が掛かっているからだろう。もし、日本が勝手に追加金融緩和や円売り介入を行えば、為替相場に大きな影響を及ぼす。ただでさえシカゴの投機筋は円買い・ドル売りポジションを積み上げており、その逆戻しが入りやすい状況にもある。日本の不用意な金融緩和、為替介入は急激なドル高・円安を招き、輸出主導による景気回復を狙っている欧米各国の“邪魔”となるのだ。それが政治的に許されるかが問題であり、菅・白川両氏は“暗黙の金縛り”に遭っていると言えよう。年初に“乗数効果”について尋ねられ、シドロモドロになった経済オンチ菅首相が主体的に為替介入に動くとも思えない。9月の代表選では小沢前幹事長の出馬も噂されており、政治が流動的であることも、政策面で膠着感が強まる要因となる。日本時間においては薄商いのなか、“年金・郵政マネーが買い支え”が出来るが、海外時間においては手も足も出ないだろう。日経平均が 9000 円、円相場が 1 ドル=85 円を大きくブレイクするのは、やはり“海外発”だと思われる。今その瞬間が刻々と近づいているのだ。

ただ、この水準で粘っていれば、間一髪救われるシナリオは残されている。それは、9/14 の民主党代表選で、小沢前幹事長が当選することである。小沢氏は亀井氏と同様、積極財政論者として知られており、首相に指名・任命されれば、閣僚を積極論者に入れ替え、追加景気対策・株価対策を実行するだろう。一時的に財政赤字は膨れ上がるが、それが円安・株高を引き起こす要因になる。その場合、日経平均は紙一重で 9000 円を死守。再び 1 万円の大台を回復するかもしれない。

しかし、これはあくまでも短期的な話。問題の本質は、サブプライム発生以降、隠し続けている欧米金融機関の巨額損失にある。この損失が政府や中央銀行に“移植”され、それがいまだに処理されていない状況がガンなのだ。つまり、金融市



株式会社黒岩アセットマネジメント代表取締役  
黒岩 泰

### <経歴>

山一証券で営業を経験したのち、フィスコで執行役員、マーケットバンクでゼネラルマネージャーなどを経て、09年4月に独立。テクニカル分析が専門だが、ファンダメンタルズ、マクロ経済などにも精通。幅広い情報源と鋭い分析で、独自の相場観を展開する。

### <主な著書>



究極のテクニカル分析  
黒岩流「窓・ひげ理論」



最強のテクニカル分析  
黒岩流「窓・壁理論」



黒岩流「窓・壁・軸理論」



eワラント必勝テクニック

## 株式アナリスト〈黒岩の眼〉

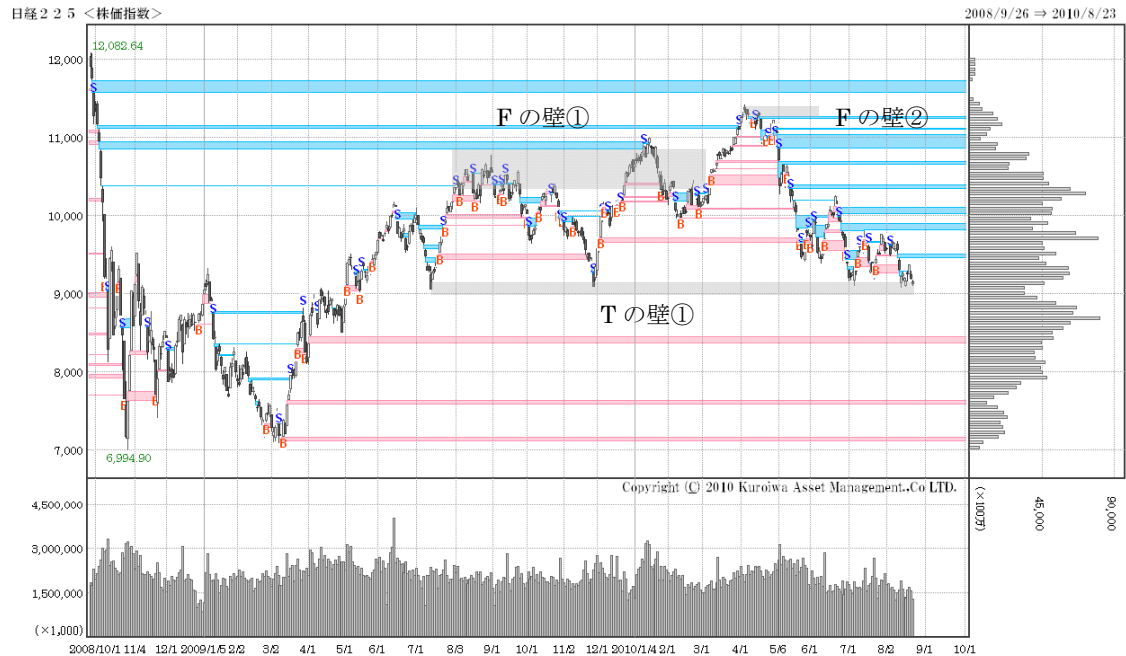
場において、欧米を筆頭に、その他多くの国々で“巨大なブラックホール”が存在しているのだ。だから、中央銀行が一所懸命、資金供給しても、その資金が市中へと流れない。すべての利益が隠していた損失の処理に充てられてしまうからだ。それが世界的なデフレの原因でもあるのだ。従って、金融機関が健全性を取り戻さないと、デフレや株安は終了しない。しかも、そこへ新たな巨額損失である中国の不良債権が押し掛かってくる。この問題を解決するには、小沢首相といえども、一朝一夕には無理なのである。だから、株価上昇は一時的に留まるのである。しばらく売り方のスタンスは変わらないということだ。

<重要イベント(予定・推測が含まれています)>

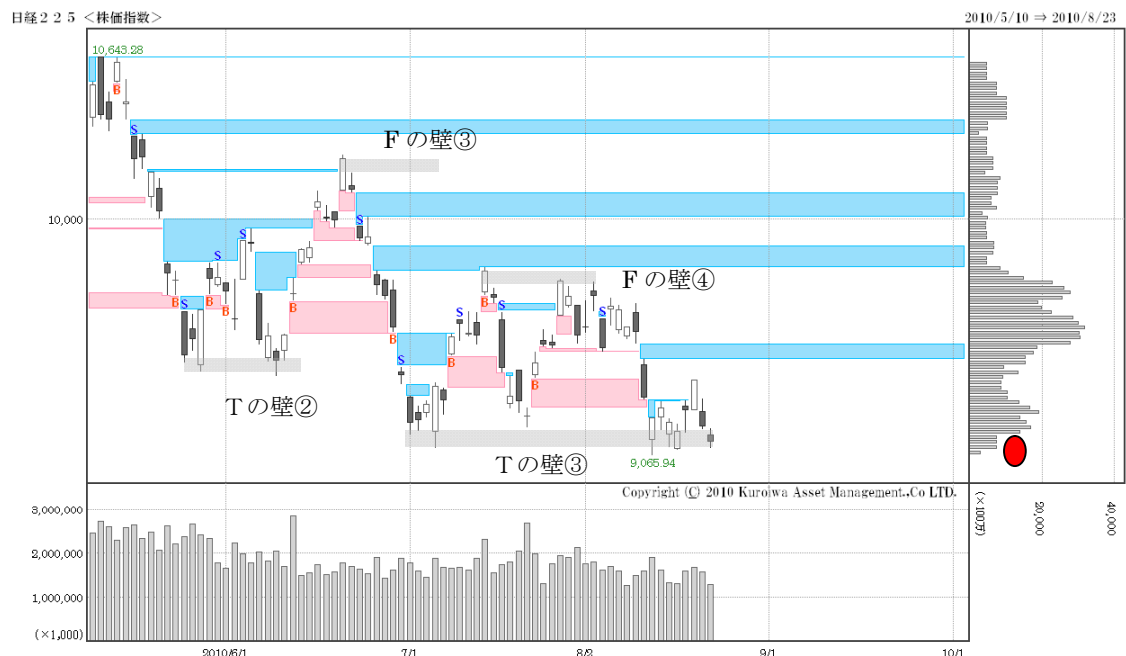
- 8/23 (月) 菅首相・白川総裁会談、今週中
- 8/24 (火) 7月の米中古住宅販売件数
- 8/25 (水) 小沢一郎政治塾で講演、事実上の出馬宣言?
- 8/25 (水) 7月の米新築住宅販売件数
- 8/26 (木) 民主政調、追加経済対策案、公明が賛成も
- 8/27 (金) 7月の消費者物価指数(CPI)、完全失業率
- 8/27 (金) 政府、景気対策とりまとめ
- 8/27 (金) 米GDP改定値
- 8/27 (金) バーナンキFRB議長講演
- 8月末 JAL更生計画、新たな融資がなければ二次破綻?
- 8月末 普天間基地移設計画、検討完了期限
- 9/1 民主党代表選、告示
- 9/7 日銀金融政策決定会合(定例)、9/6から
- 9/13 臨時国会召集、11月末までの会期
- 9/14 民主党代表選、その後、特捜部4回目の事情聴取→不起訴の見通し
- 9/21 米FOMC、追加の金融緩和か?
- 9月 バーゼル銀行監督委員会、自己資本の数値基準決定
- 9月下旬 日経平均の定期銘柄入れ替え発表、三菱レイヨン除外、ダイワボウ、電気硝子などが採用候補
- 9月末 エコカー補助金終了
- 10月 イスラエル、ラマダン明けにイランの核施設を攻撃?
- 10月 米為替政策報告書発表、中国を為替操作国認定か?
- 10月末 上海万博終了、中国が米国債売り本格化?
- 10月末 不良債権救済プログラム(TARP)、新規投入打ち切り
- 11月 米中間選挙、上院3分の1、下院全員改選、オバマ大統領の責任は?
- 11月 G20首脳会議、ソウル、自己資本比率の数値基準を最終合意
- 12月末 エコポイント終了、延長?
- 12月末 米富裕層減税廃止
- 2/10 新100ドル札発行、デノミ?
- 3月末 エコカー減税終了
- 2012年 在韓米軍撤退
- 1月 ドバイ・ナキール社、イスラム債償還期限
- 12/12/21 マヤ暦による世界の終わり

# 株式アナリスト<黒岩の眼>

## <窓・壁チャート>



## 分析期間・75日間

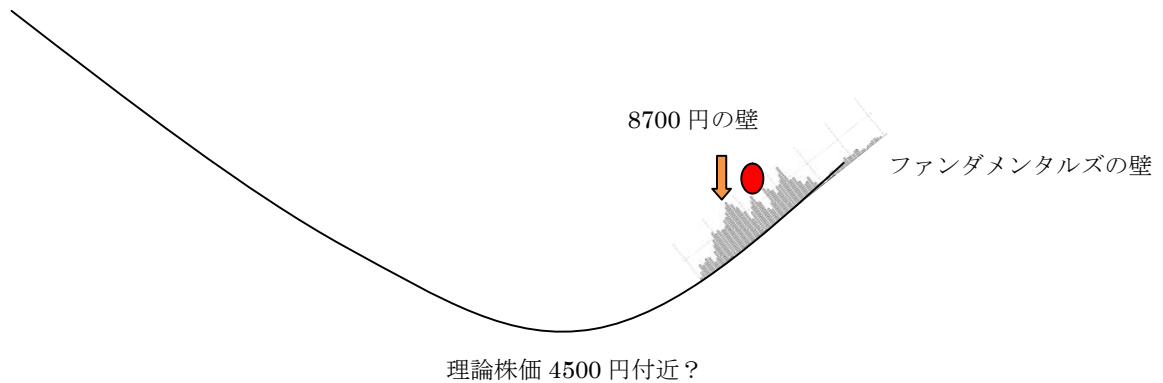


テクニカルの壁③にチャレンジしており、ブレイクするかどうか注目される。価格帯別出来高では“下落モード”になっており、普通にいけば下がるはず・・・。

8月23日  
(夕刊)

# 株式アナリスト〈黒岩の眼〉

〈窓・壁・軸理論に基づく断面図〉



軸は下向きに戻っている。

ツイッターやっています。

<http://twitter.com/madohige>

株式アナリスト「黒岩の眼」は「窓勝会会員限定コンテンツ」です。無断転送・流用・複製等は堅くお断りいたします。また、当コンテンツは黒岩泰本人の個人的な見解であり、株式投資等を勧誘するものではありません。投資の最終判断は自己責任でお願いいたします。〈株式会社黒岩アセットマネジメント〉 970549550